

イマズスルフロン・オキサジクロメホン・ピラクロニル剤 サラブレッド KAI (ジャンボ /400FG)	取扱メーカー： 協友アグリ, サンケイ* 原体メーカー： 住友化学, 全農, 協友アグリ
成分： イマズスルフロン〔スルホニルウレア系〕2.25% (ジャンボ), 2.25% (FG) オキサジクロメホン〔オキサジノン系〕0.75% (ジャンボ), 0.75% (FG) ピラクロニル5.0% (ジャンボ), 5.0% (FG)	性状： 淡褐色細粒 水溶性パック入り 1パック40g (ジャンボ) 淡褐色粒状 (FG) 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】

〈共通〉

●ノビエに安定した効果（2.5葉期迄）と長期残効性を持つ一発処理除草剤。

●スルホニルウレア抵抗性雑草及び多年生難防除雑草まで幅広く優れた効果を示す。

●効果の発現が非常に速い。

●温度による効果変動が少ない。

●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

〈ジャンボ〉

●移植直後処理が可能である。

〈FG〉

●省力性に優れた拡散性粒剤である。

【使用上のポイント】

〈共通〉

●共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 使用上のポイントを参照。

●ノビエの2.5葉期までに散布する。

●多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布する。

〈FG〉

●湛水散布の場合は田面に散布し、また湛水周縁散布の場合は水田周縁部に帯状に散布する。

雑草名	散布適期	
	ジャンボ	FG
ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ	2葉期まで	
ヒルムシロ	発生期まで	
セリ	再生前～再生始期まで	
オモダカ クログワイ	発生前～発生始期まで	
コウキヤガラ	発生始期まで	

【薬効・薬害等の注意】

〈共通〉

●共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。

●適用作物（水稲）及び適用外作物（いぐさ、れんこん、せり、くわい等）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

●直播水稲栽培では、稲の根が露出する条件では薬害が生じるおそれがあるので注意する。

〈FG〉

●藻や浮草が多発している水田では、拡散が不十分となり部分的な薬害や効果不足を生じることがあるので使用をさける。

【安全対策上の注意】

〈共通〉

●藻類に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。

●カブレやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

〈FG〉

●無人航空機散布の際は、共通注意事項の2. 空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。

【適用と使用方法】

①サラブレッド KAI ジャンボ

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ コウキヤガラ	移植直後～ ノビエ2.5葉期 但し、 移植後30日まで	小包装（パック） 10個（400g）	水田に小包装 （パック）の まま投げ入れる。	1回※
直播水稻	水田一年生雑草 ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 但し、 収穫90日前まで			

※イマゾスルフロンを含む農薬の総使用回数：2回以内

※オキサジクロメホンを含む農薬の総使用回数：2回以内

※ピラクロニルを含む農薬の総使用回数：2回以内

②サラブレッド KAI 400FG

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ コウキヤガラ	移植直後～ ノビエ2.5葉期 但し、 移植後30日まで	400g	湛水散布， 湛水周縁散布 又は 無人航空機に よる散布	1回※
直播水稻	一年生雑草 ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 但し、 収穫90日前まで			

※イマゾスルフロンを含む農薬の総使用回数：2回以内

※オキサジクロメホンを含む農薬の総使用回数：2回以内

※ピラクロニルを含む農薬の総使用回数：2回以内